

イベント用給水機リフィル等設置マニュアル

R4.9.1

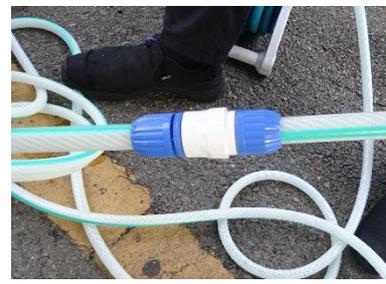
1. 保管物品

- ・ 給水機（ボトル給水型）、給水機（噴水型） 各2台
- ・ 冷却機 4台（保護鉄板が段ボール内に同封されているが原則使わない）
- ・ 給水機土台パネル 1台2枚×4セット
- ・ 水栓接続用留め具 ×2
- ・ 冷却機（又は給水機）・水栓間の接続ホース 10m1本、5m2本 ×2セット
- ・ 給水機・冷却機間の接続ホース 1m・2本 ×2セット
- ・ 給水機同士の接続ホース 2種類各1本 ×2セット
- ・ 排水ホース（5m1本） ×2セット
- ・ 工具セット（専用ドライバー、六角レンチ他）×2セット
- ・ 電気の延長コード（10m） ×4セット ※別途購入必要

2. 設置方法

（1）水栓へのホースの接続

- ・ 蛇口に留め具を付けて、専用ドライバーで3箇所ネジをしっかりと締める。
※ この留め具で留められない形状の蛇口の場合は、別の部品の用意が必要となるため、蛇口の形状は必ず事前に確認する。
- ・ ホースは上水用のホース（白っぽくて水色線が入っている方）を必ず使用する。
※ このホースは食品用品質で水にゴム臭が付かないが、排水用ホースや他のホースを使うと水にゴム臭が付いて苦情につながる。
- ※ 食品用品質のホースでも20m以上接続すると臭いが付く可能性がある。
- ・ ホースは10m1本、5m2本があるので、水栓から給水機までの距離に応じて、接続留め具を使って組み合わせる。20m以上離れていると設置不可なので、水栓と設置箇所の距離は必ず事前に確認する。
- ・ ホースは強度が弱いので、できるだけ通行人等に踏まれないような配線ルートを設定し、余った分はゴムバンド等でコンパクトに束ねる。



（2）冷却機の設置（冷水で給水する場合のみ）

- ・ 冷却機のコンセントには通常の2本の差し棒の上に丸い棒も突き出ている。これは刺す必要がないが、邪魔になるので、受け側のコンセントの形状には注意が必要。
- ・ 電源が遠い場合は、追加の延長コードが必要となるため、電源からの距離は必ず事前に確認する。

- ホースの接続口は「入」と「出」の2箇所あるが、いずれも本体のネジに防水テープを巻いてから接続金具を付ける。(テープ・金具が既に付いた状態になっていれば、そのまま使ってOK)
- 水栓からのホースを「入」の口に、給水機からのホースを「出」の口に接続する。
- 電源は給水機も含めたすべてのホースの接続が完了してから入れる。



(3) 給水機の設置（2台併設想定）

- レバー式の留め具で、ボトル給水型と噴水型を接続する。
- ※ 土台パネルを取り付けてしまうとホースが接続できない。土台パネルの設置はすべてのホースの接続が完了してから。
- 上水と排水のホース、差込口を間違えないよう注意しながら、ボトル給水型と噴水型をホースで接続する。(細い方が上水のホース)
 - 必ずボトル給水型を冷却機と接続する。(噴水型と接続すると逆流の恐れあり)
 - 噴水型に排水ホースを接続する。
 - 付近に排水を流せる排水溝、植え込み等がない場合はバケツやポリタンクで受けて、溜まったら排水溝等に運んで行って流す。
 - ホースの接続が完了したら、水栓を開けて、冷却機の電源を入れて、給水機の水を出してみる。(側面のセンサーに手を近付ける)
 - 最初は空気交じりの水が不規則に噴出するので、それが治まって安定的に水が出るまで水を出し続ける。
- ※ この間に出ている水は、前回使用時から機械やホース内に残っていた古い水の可能性があるので絶対に飲まないこと。
- 安定的に給水され、ホース接続部からの漏水がないことを確認したら、各給水機の土台パネルを設置する。
 - 土台パネルには水平調整機能は付いていないので、設置場所が傾斜している場合は、板を挟む等により水平を確保する。
- ※ 水平調整用品の要否を判断するため、設置場所の傾斜は必ず事前に確認する。



3. 撤収方法

- 水栓を止水する⇒冷却機の電源を切る⇒ホースを外すの順。
- ホースを外す前に、各給水機のセンサーに手をかざして、機械内の水を出し尽くす。
- 設置時と逆の順序で、土台パネル、ホースを外していく。
- ホースを取り外す際は残り水が噴き出るので、タオルを巻いて外す。
- 外したホースは、中の水を流して、表面を拭きながら巻いていく。
- 巻き取ったホース類はバンドで結束して、カゴに入れる。
- 給水機の水栓口に養生テープを貼っておく。(虫の混入を防ぐため)
- 冷却機のホース接続部の金属金具は外さずに、そのままにしておく。
- 水栓の留め具を取り外し忘れないように注意。

